

「学ぶ力」	
実態	成果
実態	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇安心して学習に取り組むことができるよう、支援してくれていると感じている生徒が多く、生徒の粘り強く学びに向かう力を支えることができている。 ◇振り返ったことを、次に生かそうとしている生徒が多い。(共通指標によるアンケート) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇1日の時間の使い方や自分で計画を立てて勉強するなど、自らの学びを調整しながら主体的に学ぶ力が十分とは言えない。 ◇疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしたり、分からないことはそのままにせず、分かるまで努力する姿勢を育てる学習指導の工夫が必要である。(共通指標によるアンケート)
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市共通指標の相互承認に関連する項目において、「人の役に立ててうれしいと感じることがある」生徒の割合は昨年度より増加傾向にある。一方で、「自分が必要とされていると感じる」生徒の割合は昨年度より減少傾向にある。生徒同士による相互評価による他者を受容する態度を育成するとともに、パートナー校との協力のもと、小中9年間を通して生徒が自他を認める場を設け、自己有用感を高めることができる教育課程の編成を目指す。</p>	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
一人一人が自己のよさを感じ、自ら学び、協働で課題の解決に向かう資質・能力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
取組	<ul style="list-style-type: none"> ◇学んだことを生かし進んで学びに向かうことができる学習 <ul style="list-style-type: none"> →興味・関心を持ち「知りたい」「学びたい」と感じる課題 →既習の知識・技能を活用する見通しを持つことができる学習内容 →子どもの工夫や挑戦の場のある学習 ◇学習の個性化により一人一人の学びの質を高める学習 <ul style="list-style-type: none"> →google アプリ等の ICT を活用した学び →自分の考えや意見を持つことができる学び ◇自己の学びの姿と学びのよさを実感する学習 <ul style="list-style-type: none"> →授業や単元の振り返りの場によって自己の学びを実感することができる学習 →学んだことを広げ、次の単元や実生活につなげることができる学習 →計画的に学び、振り返りにより自らの学びの姿を把握し、自己調整できる学習 ◇個の学びを持ち寄りより深く思考する学習 <ul style="list-style-type: none"> →他者の考えや意見を自分の考えや意見に作用させる学び →省察により自他の考えや協働で導いた解決を深める学び
自治的な活動の充実 に向けて	
	<ul style="list-style-type: none"> ◇よりよい学級・仲間づくりにつながる学級活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> →学級の課題を解決する話し合いの場(学級会) →年度当初の新学級での「仲間づくり活動」の教育課程への位置づけ(構成的グループエンカウンターなど) ◇自己の学びや成長を感じることができる振り返りの場 ◇想像力を生かし、一人一人が大切にされていると感じ自分の思いを伝えることができる場 ◇互いに支えあい問題を解決に導く力の育成 <ul style="list-style-type: none"> →ピア・サポートの考え方を取り入れた学級づくり ◇9年間を通じた子どもの育ちを大切にされた教育課程 <ul style="list-style-type: none"> →パートナー校の生徒会・児童会が連携したあいさつ運動「あいさつのある地域づくり」 →「交通安全総ぐるみ運動」など地域と連携した地域づくり意識の向上 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自治的な活動を通して身に付けた主体性や互いを認める心、協同性を学びにつなげる</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
<p>◇複数のツールの中から適当なものを、生徒が自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの利点などの特色について事前指導の機会を設ける</p> <p>◇Googleform で各自の意見を集約し、ワードクラウド等で可視化するなど、一人一人の意見や考えが反映するシステムを生かすことや、パートナー校との連携のために、オンラインミーティングの機会を作り、子ども同士の声をつなげられるようにする</p>	

<本プログラムの実行に向けて>



